



『呉市史 資料編』海軍Ⅰの販売について

標記の件について、令和4年7月11日より『呉市史 資料編』海軍Ⅰの販売を行いますので報告します。同巻は資料編全8巻の第3巻目として発刊しました。

1 規格等 A5判2段組, ハードカバー箱入り, 口絵 8ページ, 付図 (DVD) 30枚,
本文 1111ページ, 発行部数 900部

2 内 容 明治期の呉海軍に関する資料総数259点を収録 (海軍Ⅱは次回発刊予定)。

3 各章の資料概要

【第一章 呉鎮守府の設立と発展】呉海軍の全体像を概観するために、海軍の鎮守府構想から呉鎮守府の設立、重要な出来事、各組織と活動、海軍兵学校に関する資料を採録しました。

【第二章 軍備拡張計画と呉鎮守府の建設】これまで不明であった呉鎮守府の目的が、防御に最適な呉港に海軍一の造船所を設立することであったと跡づける呉鎮守府設立計画、鎮守府と造船部の計画と実際の様子に関する資料を採録しました。

【第三章 造船部門の形成と活動】呉鎮守府造船部・呉海軍造船廠・小野浜造船所の設立、施設の整備と活動に関する海軍一の造船廠となる過程を跡づける資料を採録しました。

【第四章 造兵部門の形成と活動】海軍工廠のなかで随一の造兵部門が形成される様子を明らかにする、呉兵器製造所、呉海軍造兵廠、兵器と特殊鋼の生産に関する資料を採録しました。

【第五章 呉海軍工廠造船部および造機部の拡張】呉工廠の造船部門が、海軍で最初の主力艦を建造、その後も活躍した様相を明らかにする各種資料を採録しました。

【第六章 呉海軍工廠造兵部と製鋼部の形成と展開】呉工廠が海軍随一の大砲や水雷、唯一の主力艦を防御する装甲板を製造する工場であり、他の工廠にもそれを提供していたことを示す資料を採録しました。

【第七章 明治期の対外戦争と呉海軍の活動】明治期の対外戦争と軍港防御を対象とし、戦時期に呉工廠がもつとも困難な修理を担ったこと、砲台の構築など防御を重要視したことを跡づける資料を採録しました。

【第八章 呉鎮守府を担った人びと】呉鎮守府という組織を担った人びと、軍人・職工などの福利厚生、呉工廠における争議などの資料を採録し、呉軍港に多様な人材が結集していたことを示す資料を採録しました。

4 販売価格 7,000円 (7月11日 (月) より販売開始)

5 販売場所 文化振興課市史編さんグループ 呉市中央図書館3階 電話21-0757
文化振興課 呉市役所本庁 8階 電話25-3463

※ 郵送をご希望の場合は、文化振興課市史編さんグループ (〒737-0051 呉市中央3丁目10-1 呉市中央図書館内) にご連絡ください。